

あおば子ども食堂だより



2023年11月 第13号

うだるような暑さのこの夏もあおば子ども食堂は、休むことなく開催できました。ボランティアも頑張り、子ども達もしっかり来てくれました。あの暑さは何処へやら、爽やかな秋日和にほっとしながら「こういうときに食中毒ってでるのよね。」と気を引き締めて活動しています。ハロウィンにはお菓子袋を130作りしました。中身の折り紙の魔女やカボチャはボランティアの手作り、そしてクッキーやチョコレートは全部ご寄付頂いた物、本当に嬉しい限りです。帰りに一つずつ渡された子ども達の何とも言えない嬉しそうな顔。ちょっと大きい子は照れくさそうにしたりして、可愛いですね。一つ一つを喜びの糧として、今後も活動していきます。ご支援・ご協力お願い致します。

(三村徳子)

6月から事務局長を務めることになりました。と言っても実際には雑用係、机を並べたり、食材や荷物を運んだり、跡片付けの掃除をしたり、時には子どもの相手をしたり・・・。設立当初からかかわり、ふれあい青葉を中心に他の3つの食堂でも活動したことがありますとおおよその雰囲気はわかっているつもりです。毎回4つの食堂を合わせると100～150人の参加者が常に来所。年間を通じてほとんど休むことなく毎水曜日に開催していますから、年間で6～7千人に食事を提供している計算になり、おそらく日本全国でも最大級の規模ではないかと思えます。それが可能になっているのはもちろん県や市、社会福祉協議会など公的な機関からの助成金に加えて、地域の方達からの心暖かい寄付、そして無償で駆けつけてくれるボランティアの方々の協力などがあってのことで、本当に感謝です。

わたくしは現場志向の人間、大事なのは子どもたちがたくさん集い、明るく楽しい食堂にしていくことだと考えております。皆様の引き続きのお力添えをお願いいたします。

(事務局長 根津利三郎)

上限に達したため配付停止していた“ベビーシッター利用割引券”の再開が、10月2日こども家庭庁から発表されました。子ども食堂にご参加の皆様へご案内いたします。

詳細は添付 URL をご参照ください。

(ふれあい青葉 山本健太郎)

【2023年版】知らないで損！「ベビーシッター助成制度」を活用していますか？

https://192abc.com/baby_announcement/496528

横浜市の子育て支援事業や施設。子育てに関する補助金や子育て支援情報

<https://sitter.kidsna.com/article/child-raising/7289>

現場から

美しが丘

近藤祥子

暑かった夏が過ぎ、秋らしいさわやかな季節になってきました。これまでの様々な規制が緩和され、子供食堂にも明るく賑やかな声がたくさん戻ってきています。夏にはとうもろこしご飯、サツマイモご飯など季節を感じるメニューも登場！

先月からテーブルを囲んでの食事を再開しました。お友達との食事に子供たちの笑顔が弾け、まわりにも笑顔の輪が広がります。保護者の方々の会話も弾み、子供たちだけでなく参加者みんなの交流の場になっていることを実感。もちろん私たちボランティアにとっても楽しい時間を共有する場でもあります。

「おかわりくださ〜い」や、食事後に調理場をちょこっと覗いて、「おいしかったで〜す」とにっこり恥ずかしそうに声をかけてくれたりと優しい時間が流れます。

たくさんの方々の支援者の方々に支えられ、「子供たちに美味しい食事と笑顔を」という思いですが、実際に笑顔をもっているのは私たちのほうかもしれません。

さつきが丘

豊崎智子

秋らしい気候になって気持ちの良い日が続いています。さつきが丘地域ケアプラザの「あおば子ども食堂」は幼児を中心に小学校低学年から中学生までの子どもたちで賑わっております。ハロウィンの時にはボランティアのメンバーがとても素敵なハロウィンバージョンの飾りつけをして、その前で嬉しそうに記念撮影をしている子どもたちの笑顔がありました。

また、地域のつつじが丘小学校の総合学習の中で、子ども食堂に関心をもってくれた小学2年生のクラスが子ども食堂のことをいろいろ教えてほしいと区社協を通して言ってきました。説明に行く日時はまだ連絡待ちになっていますが、子ども達にお話しできるのが楽しみです。最近、子どもたちが住んでいる地域に目を向けて様々なことに関心を示してくれていることに嬉しい気持ちと、子どもたちの鋭い観察眼におどろかされるがたくさんあります。

ふれあい青葉

根津利三郎

10月も半ばを過ぎてようやくしのぎやすくなりました。運動会の準備をする子供たちの声も一層元気になってきたような気がします。と思いきや店先ではクリスマスのおもちやが並び始め、年末が近づいているのを思い起こさせます。子供食堂でも手持ちのかぼちゃや魔法使いのお飾りを飾ってハロウィンの雰囲気づくりに努めています。毎年この時期になると新米が出回り始めますが、それとともにお米の寄付が増えて、現在子供食堂ではお米についてはほとんど買わなくても済んでいます。毎回30キロ近く消費しますので本当に助かります。金銭のご寄付や子供用のお菓子、新鮮なお野菜などさまざまなものをいただいています。地域の心優しい皆様にいつも感謝しております。

もえぎ野

田中圭子

今夏の酷暑の影響により、もえぎ野は7月8月と集まる子供たちの動きが遅い傾向にあったのですが、10月になり開所の17時30分より前から待っている子供がいたりして、総参加者数が急激に増えています。涼しくなって外に出やすくなったこともあるでしょうが、何より物価の高騰により日常の買い物による支出が増える中、子供100円大人200円を変えることなく具だくさんのお味噌汁と美味しいご飯が食べられる「あおば子ども食堂」は、魅力的であること間違いなしです。これは全て、地域の皆様の温かいご寄付のおかげです。心より感謝申し上げます。そして、初めて来て下さったお母様に、どうやってこの子ども食堂を知って来て下さったのかスタッフが確認した所、「お友達のお母様に教えて頂いた」との回答。以前から来て下さっているご家族が、私たちの知らないところで子ども食堂を話題にして宣伝して下さっていたのですね。改めてありがたく感謝し、「美味しかったです！」と言って笑顔で帰っていくご家族を見送りながら、来て下さるご家族の期待を裏切らないように頑張ろうと思いました。